



ダイワ ファンドラップ
— ONLINE —

ファンドラップ オンラインセミナー ～楽しむ、という選択。あなたと考える資産運用を。～

大和証券
ONLINE TRADE
SINCE 1996

国内ラップ口座 契約資産残高 推移

(兆円)



※ 一般社団法人日本投資顧問業協会公表資料（2016年12月末時点）より、大和証券作成。

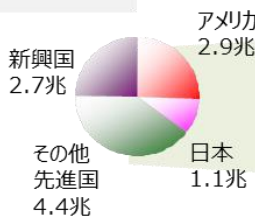
「ファンドラップ」とは？

「ファンドラップ」・・・ 国内外の株式や債券などに「国際分散投資」を行なう運用サービス

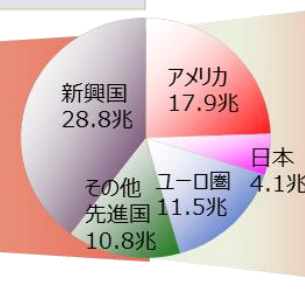
株式時価総額と名目GDP予想値推移



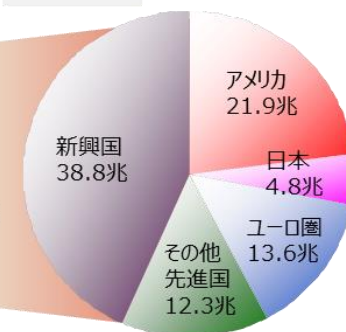
1980年 11兆ドル



2015年 73兆ドル



2020年 91兆ドル



出所 IMF(WEO2016年4月) Bloomberg(時価総額) WORLD FEDERATION OF EXCHANGES(時価総額2003年まで)



ロボ・アドバイザーが将来設計をサポート！
3つの診断メニューからあなたの考えに近いものはどれですか？



ライフプランニング

今のライフプランで大丈夫？

診断スタート



資産運用プランニング

X年後に〇万円貯めたい！

診断スタート



リスク許容度診断

自分にあった運用って何だろう？

診断スタート



「ライフプランニング」のサンプルを見る



「資産運用プランニング」のサンプルを見る



「リスク許容度診断」のサンプルを見る

シミュレーション ～10年後に250万円貯めたい！～

資産運用プランに関するご質問
— 資産運用プランニング —



ダイワ ファンドラップ
ONLINE

資産運用プランに関するシミュレーション結果から、あなたに最適な運用スタイルをご提案します。

あなたの資産運用の目標を入力してください。

目的 : 子供の教育資金

イベント資金の目安

目標時期・目標金額 : 10 年後に 250 万円の資金を確保したい

上記目標の達成に向けて、現在準備している金融資産（当初資金）はありますか。

あり

上記目標達成のための**当初資金（A）**の内訳と今後予定している追加資金（**積立資金（B）**）の額を入力してください。

※積立資金は当初資金の資産構成比率で運用したものとして計算します。

当初資金（A）の合計額

100 万円

預貯金などの合計額

100 万円

預貯金

100 万円

外貨預金

万円

当初資金の資産構成比率



毎年の積立資金（B）の額

12 万円/年

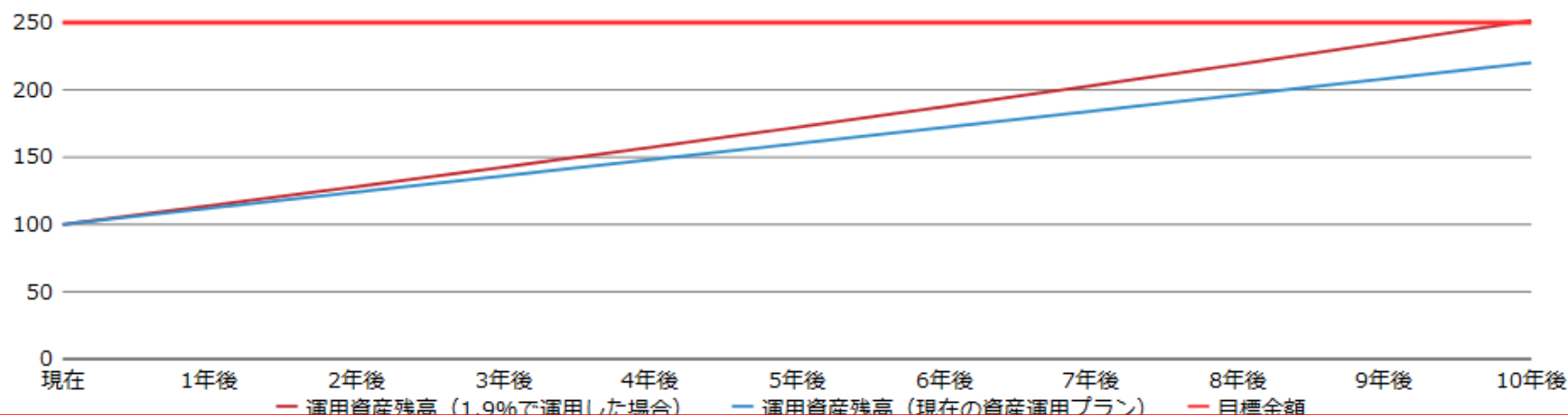
次へ
(シミュレーション結果)

シミュレーション ～必要な利回りは？～

シミュレーション結果
ー資産運用プランニングー



資産運用プランシミュレーション結果 図
(万円)



現在の資産運用プランで、10年後に 目標資金250万円を確保できる見込みは低いと考えられます。
目標資金の確保のためには、少なくとも**1.9%の運用利回りが必要**となります。
目標達成に向けた最適な運用スタイルをご提案します。

◀ 戻る

次へ
(運用スタイル提案) ▶

シミュレーション ～運用スタイル～



シミュレーション ～運用スタイル～

運用スタイルのご提案
ー資産運用プランニングー



ダイワ ファンドラップ
ONLINE

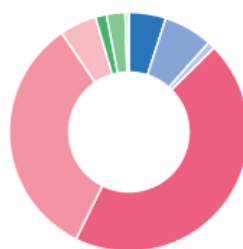
お客さまに最適な運用スタイルは、 **より安定運用スタイル（20540）** です。

資産構成比率

現状



ご提案運用スタイル

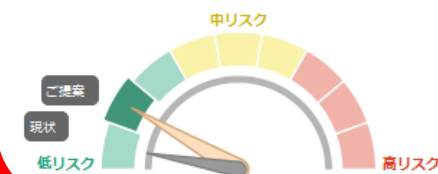


詳細

リスク水準

ご提案運用スタイルのリスクレベルは、「2」（9段階中）で、現状の運用資産よりも高くなっています。

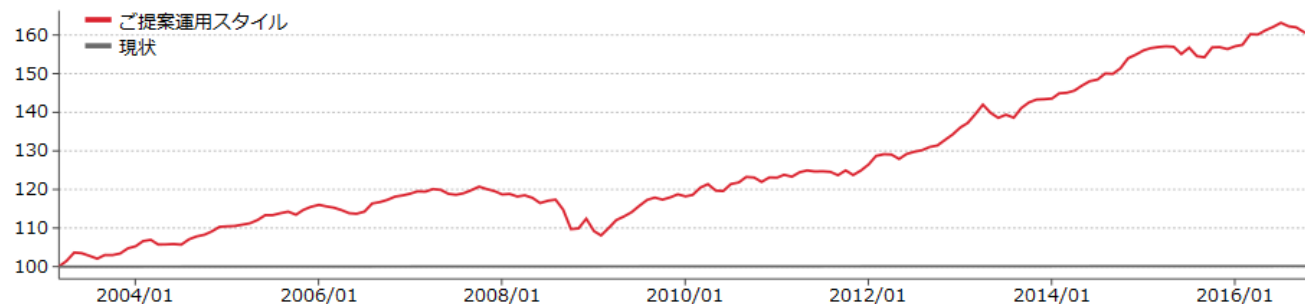
当運用スタイルは、リスクは可能な限り抑え、預貯金金利をやや上回るリターンを確保を目指した運用を行います。



運用シミュレーション

過去シミュレーション

将来シミュレーション



戻る

? ダイワファンドラップオンラインとは?

今後のお手続きはこちら

シミュレーション ～運用スタイル～

運用スタイルのご提案
ー資産運用プランニングー



ダイワ ファンドラップ
ONLINE

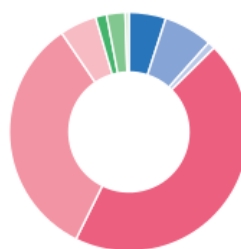
お客さまに最適な運用スタイルは、 **より安定運用スタイル（20540）** です。

資産構成比率

現状



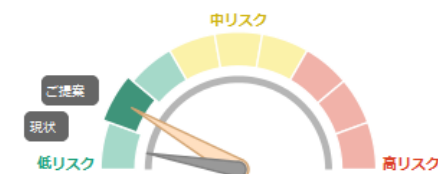
ご提案運用スタイル



リスク水準

ご提案運用スタイルのリスクレベルは、「2」（9段階中）で、現状の運用資産よりも高くなっています。

当運用スタイルは、リスクは可能な限り抑え、預貯金金利をやや上回るリターンを確保を目指した運用を行います。

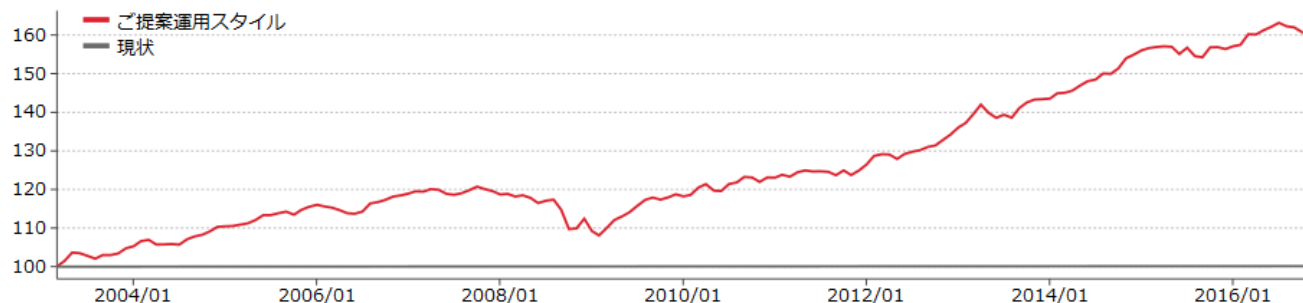


詳細

運用シミュレーション

過去シミュレーション

将来シミュレーション



戻る

? ダイワファンドラップオンラインとは？

今後のお手続きはこちら

シミュレーション ～運用スタイル～

運用スタイルのご提案
ー資産運用プランニングー



ダイワ ファンドラップ
ONLINE

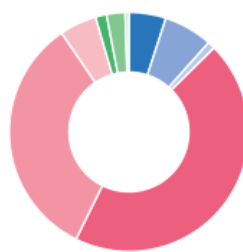
お客さまに最適な運用スタイルは、より安定運用スタイル（20540）です。

資産構成比率

現状



ご提案運用スタイル

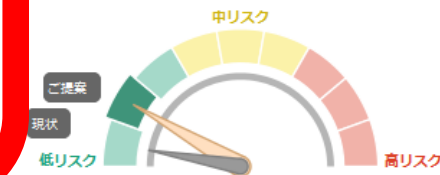


詳細

リスク水準

ご提案運用スタイルのリスクレベルは、「2」（9段階中）で、現状の運用資産よりも高くなっています。

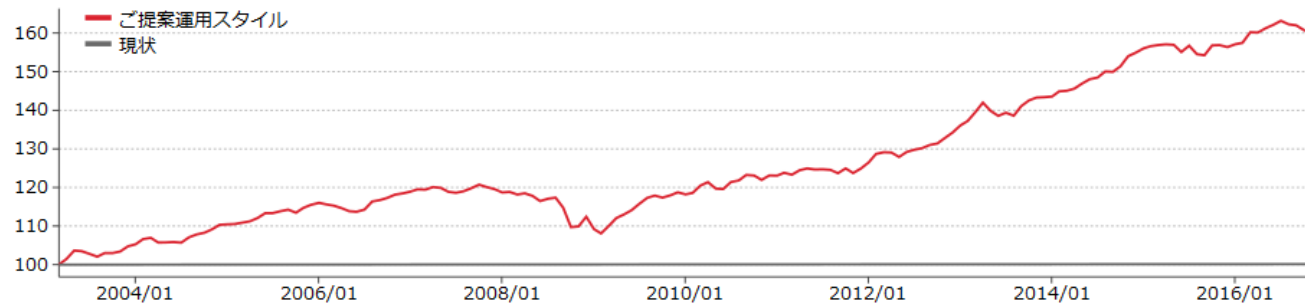
当運用スタイルは、リスクは可能な限り抑え、預貯金金利をやや上回るリターンを確保を目指した運用を行います。



運用シミュレーション

過去シミュレーション

将来シミュレーション



戻る



ダイワファンドラップオンラインとは？

今後のお手続きはこちら

シミュレーション ～運用スタイル～

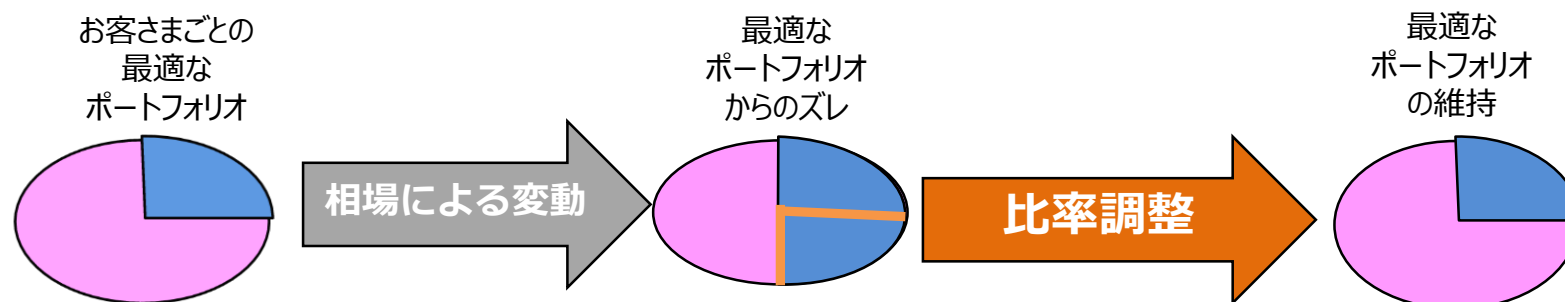


詳細		
	現状	ご提案
現金・預貯金	100.0 %	0.0 %
日本株式	0.0 %	5.0 %
外国株式(為替ヘッジあり)	0.0 %	6.6 %
外国株式(為替ヘッジなし)	0.0 %	1.0 %
日本債券	0.0 %	44.7 %
外国債券(為替ヘッジあり)	0.0 %	33.2 %
外国債券(為替ヘッジなし)	0.0 %	5.0 %
J-REIT	0.0 %	1.5 %
外国REIT(為替ヘッジあり)	0.0 %	2.5 %
外国REIT(為替ヘッジなし)	0.0 %	0.5 %

サービス開始後は自動運用におまかせ

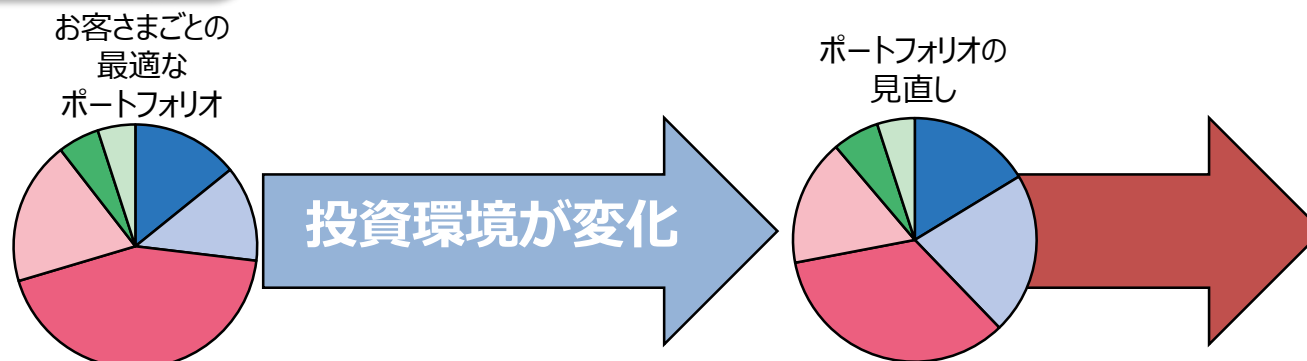
- ダイワファンドラップオンラインは、運用開始後も、お客さまの運用スタイルに応じた最適な資産配分を維持するために継続的な運用のメンテナンスを行います。

リバランス



お客さまの保有する投資対象銘柄の値動きによってお客さまの資産配分と最適な資産配分（＝基準配分比率）との間に一定以上の乖離が生じた場合、比率調整のための売買（＝リバランス）を毎月行ないます。

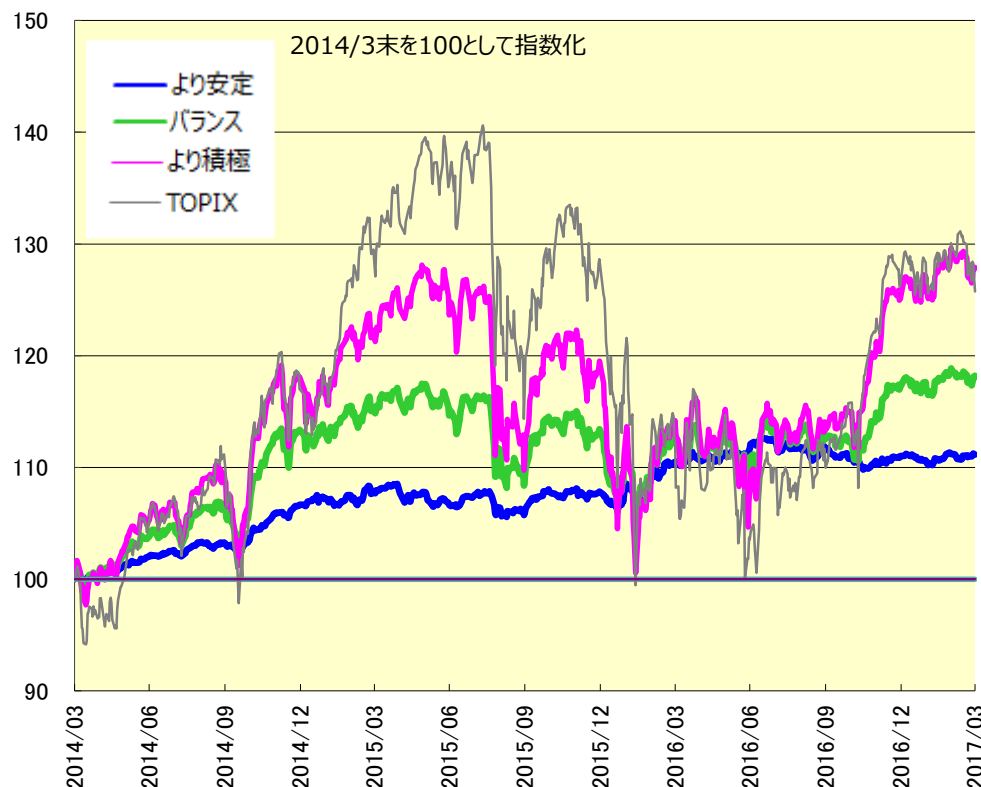
基準配分比率の変更



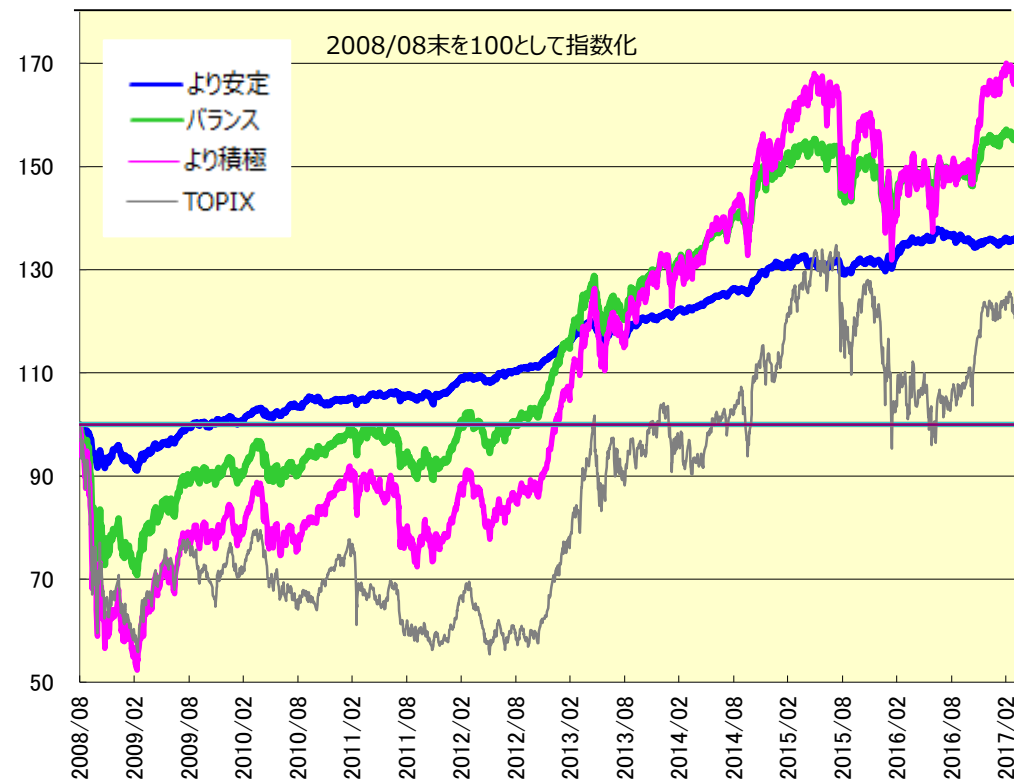
中長期的な経済・市場環境の見通しに基づき各運用スタイルの基準配分比率の見直しを行なうことがあり、新たな基準配分比率との間に乖離が生じた場合、比率調整のための売買を行ないます。

(参考例) 運用状況

直近3年間（2014/3末～2017/3/31）



リーマンショック直前～（2008/08末～2017/3/31）



● 上記のパフォーマンスは、各月末時点における各スタイルの基準配分比率とインデックスなどを用いて一定の条件で計算したモデルパフォーマンスであり、実際の運用成果とは異なります。

● 各スタイルのパフォーマンス計算に用いた指数は、日本株：TOPIX(配当込み)、外国株式（為替ヘッジあり）：MSCIコクサイ（米ドルベース）－日米短期金利差、外国株式（為替ヘッジ無し）：MSCIコクサイ（円換算）、日本債券：ダイワ・ボンド・インデックス（DBI）総合、外国債券（為替ヘッジあり）：シティWGBI（日本を除く、円ヘッジ指数）、外国債券（為替ヘッジ無し）：シティWGBI（日本を除く、円換算）、J-REIT：東証REIT指数（配当込み）、外国REIT（為替ヘッジあり）：S&P先進国REIT指数（日本を除くドルベース）－日米短期金利差、外国REIT（為替ヘッジ無し）：S&P先進国REIT指数（日本を除く、円換算）、コモディティ：RICI指数（円換算）、ヘッジファンド：ダイワファンドラップヘッジファンドセレクト

● 各スタイルのパフォーマンス計算を行うに当たり、外国株・外国債券・外国REIT・コモディティは前日の市場・当日の為替（TTM）を用いています。

● 比較用指数などは、日本国内のカレンダーベース（国内の祝日は反映されません）で作成しています。尚、投資信託の基準価額反映日と一致しない場合があります。

● 「Jim Rogers®」、「Rogers International Commodity Index®」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®またはBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。データ出所：Bloomberg

診断結果に基づき、お客さまに最適なポートフォリオをご提案いたします。

リスク水準は7段階ご用意しています

より
安定

安定

やや
安定

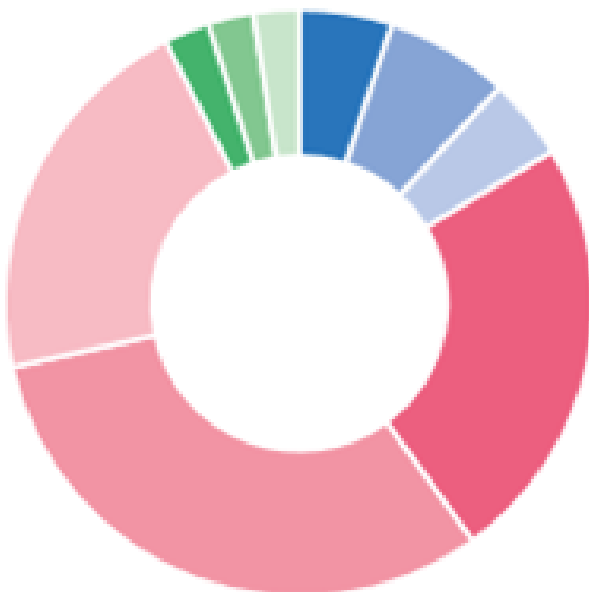
バランス

やや
積極

積極

より
積極

スタイル例：安定運用スタイル（20571）



資産クラス	構成比率
日本株式	5.1%
外国株式(為替ヘッジあり)	6.8%
外国株式(為替ヘッジなし)	4.5%
日本債券	23.6%
外国債券(為替ヘッジあり)	31.5%
外国債券(為替ヘッジなし)	21.0%
J-REIT	2.5%
外国REIT(為替ヘッジあり)	2.5%
外国REIT(為替ヘッジなし)	2.5%

「ファンドラップ オンライン」では、インターネットを通して、お客さまの将来設計や投資に対するお考えから、最適な運用スタイルを診断いたします。

退職後、自分が
思い描く生活が
できるかな？

ライフ
プランニング

お客さまが思い描くライフプラン
の実現可能性を診断

5年後に家を購入したい！
今の資産運用のままで
大丈夫かな…？

資産運用
プランニング

現在の資産運用プランから
目標とする資金が確保できるか

自分に合った
資産運用ってどんな
もの？

リスク許容度
診断

運用目的や投資経験などから
最適な運用方法を診断

ファンドラップ オンライン

(2017/1/27より取扱いスタート)

お申込み

- **インターネット**
(契約・増額・減額など全ての手続きが
パソコン・スマートフォン・タブレットで可能！)

契約金額

- **新規：50万円以上** (1万円単位)
- **増額：1万円以上** (1万円単位)

費用 (ファンドラップ・フィー)

- **1.08%** (年率・税込)

運用スタイル

- 3つの診断メニューを通じて、
お客さまに適した運用スタイルをご提案
(リスク水準は7段階・運用スタイルは50種類程度)

「ダイワファンドラップ オンライン」 お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

＜手数料等の諸費用について＞

「ダイワファンドラップオンライン」にてお客さまにお支払いいただく費用（ファンドラップオンライン・フィー）は、契約資産の時価評価額に対して最大1.08%（年率・税込）となります。その他に、投資対象となる投資信託に関して信託報酬などの間接的にご負担いただく費用がかかります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

＜ご投資にあたってのリスク等＞

投資一任契約とは、当事者の一方が、相手方から、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき当該相手方のための投資を行なうのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。「ダイワファンドラップオンライン」は、投資一任契約に基づき投資信託証券を対象とした投資運用を行なう取引です。そのため、運用成績は投資対象となる投資信託の価格変動に応じて変化します。したがって、契約資産の額（元本）が保証されるものではなく、これを割込むことがあります。また、運用による損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。投資対象となる投資信託は、主として、国内外の株式、債券、リート（REIT）、株式先物等派生商品、およびこれらを実質的な投資対象とする複数の投資信託証券等に投資しますので、その基準価額はこれら実質的な投資対象の価格などに応じて大きく変動します。なお、これら実質的な投資対象のうち外貨建資産に関しては為替リスクが存在します。当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、円ベースでの価格下落要因となり、投資元本を割込むことがあります。「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないますが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジに伴うコストが発生します。「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、為替レートの変動の影響を直接受けます。

＜ご投資にあたっての留意点＞

「ダイワファンドラップオンライン」のご契約にあたっては、あらかじめ「契約締結前交付書面」を交付しますので、お申込み前によくお読みください。「ダイワファンドラップオンライン」をお申込みの際には、「ダイワファンドラップオンライン投資一任契約書（兼 契約締結時交付書面）」、「ダイワファンドラップオンラインサービス約款」等で契約内容をご確認ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%(税込)但し、最低2,700円(税込)の委託手数料が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。